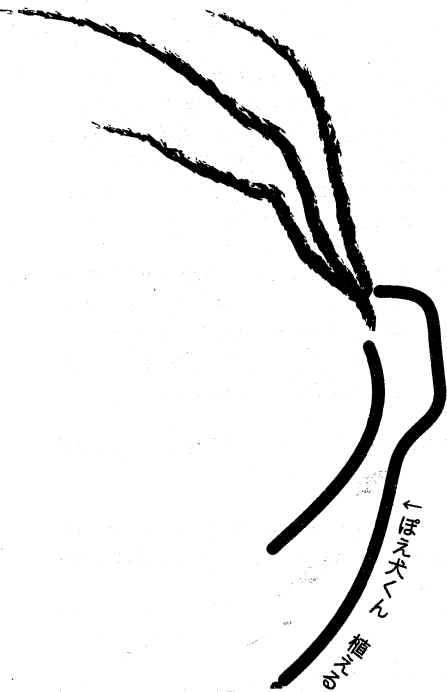


1. 0から1を成すべし
1. それを、おもしろ、おかしく、たのしくするべし
1. 深く、ていねいに、息を吐くこと



アートは米だ！

乳を飲んで育ち、歯が生えたら食物をたべて、生きていく。「主食論」という思想がもしあるとしたら、この島国・日本は「米の思想」を生きている。
ある日、ココルームにひとりの青年がやってきて、「いま、米をつくってるんです」と言った。「米、ですか」
ふだんお米のことを考えてもいないことに気がついた。

冬のおわりに田を耕す。
春、水のはられた田圃に空が映る。
雨が降り、風が吹き、稲が育ち、穂が重みに垂れ、刈り取られる。干され、精米機にかけられ袋詰めされ、わたしたちの手元に届く米。

つづく時間のなかで、人のいのちをつなぐために存在する米。

アートは米だ！

わたしたちはとつぜん宣言する。
アートということばを「生きる技術」と定義し、生きるためにひつような米と同じように、人生にはアートが要る。



川を渡る

地面を分断している川の岸辺の際は
地面なのか 川なのか

せとぎわの際は 生き物がせめぎあい
名もしらぬ草が 若い芽をふき
ちいさな虫が たえず這いずりまわっている

地図には 国家がきめた国境線がある

境に暮らす人々の思惑とは

ほとんど別の 主義や制度、権力としての
線がひかれる 何度も

この線をはさんで

語られる言葉は 何語なのだろう
国家に依拠しない生きる言葉を
わたしは持っているのだろうか

海をほとんど渡ったことのないわたしは
なんのひつようも異和も感じずに
母語の便器に座り ご飯を食べている毎日

あなたとわたしの間に

川がある
その水の冷たさと 時間と
理解しがたいお互いの母語や記憶のひずみがあることを 忘れずにいたいと思う

ひとつの星のうえで

めぐる季節のなかで
一瞬の時間を生きるわたしたち
路上で 犬と眠る男たちや女たちがいて

孤独をひきうけていく言葉を
この身に宿して

こえとことばと

野村国際文化財団助成事業

創造力の美術家・ジロー・オオクラと
詩人・上田假奈代による
コラボレーション展覧会

線とことば

展示 7月17日(日)~7月31日(日)
オープニングイベント「線とことば」
7月17日(日) 15:00開始
会場・お問い合わせ：ココルーム
入場料：¥2000
(1ドリンク、CD付、材料費、発送費含む)

出演：
ジロー・オオクラ(美術家)
上田假奈代(詩人)
エメスズキ(ダンサー)
大和川レコード(サウンド/ビデオアーティスト)

発売元 mixed media トカ輪 ※注文番OKA-001

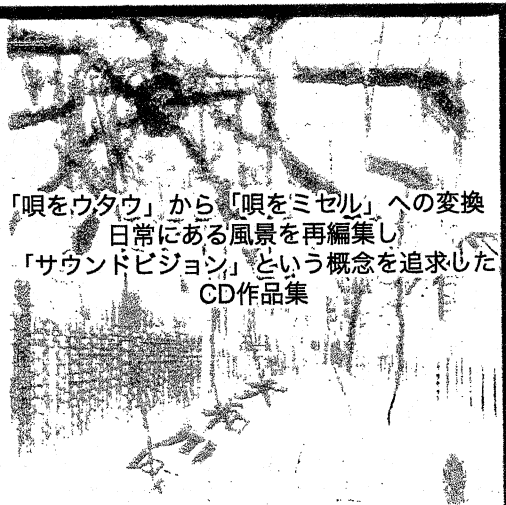
05年6月1日 全国レコード店リリース

2100円税込

『選び採取られた日常』

エラピトラレタニチシヨウ

大和川レコード音記録作品集



「唄をウタウ」から「唄をミセル」への変換
日常にある風景を再編集し
「サウンドビジョン」という概念を追求した
CD作品集



アートと米にまつわるあれこれ。
「ココ田んぼ」の旗をもって出かけた
5月29日の田植参加者の方の感想も
あわせて掲載いたします。

※「ココ田んぼ」
草取り、稲刈り収穫祭に参加ご希望の方は
ココルーム田植係までご連絡ください。

○水田が地球を救う

米田裕彦(会社員)

稲の原産地は中国起源説、インドシナ半島起源説などがあるが、インド起源説が有力。アジアで稲作が始まったのは五千年以上も前と考えられ、東南アジアから中国、日本へと、根菜農耕地帯に重なるように普及しました。日本へはインドから中国を経由し朝鮮半島が南方の島伝いに、三千年～二千五百年前の縄文時代末期から弥生時代の初め頃に伝わりました。

稲はもともと湿地に生えていて、根の空気(酸素)要求率が著しく小さい特徴があります。稲の根には大きな空隙があり、他の沼沢植物にも共通、この空隙が地上部につながり、レンコンの穴のように地上部から根に酸素を送っているの、水の中で稲が育つのです。東アジア、東南アジアを中心とするモンスーン地帯の農業で最大の敵は雑草ですが、水の中に育つ雑草はそんなに多くはない。人々が稲作を始めた理由はここにあるのです。

初期の稲作では水のない時に焼き畑農業をやり、その後稲を蒔き、やがて雨季になると稲が雑草とともに成長するが、そこに水を入れると雑草のみが枯死します。そして雨季の終わりに耕地を乾かして収穫しました。焼き畑農業でもっとも厄介だった雑草を、水によって代用したのです。

そのうち稲作専用の水田ができた。水田に水をはると、栄養分が供給されるという効果があります。日本は多雨で地形が急峻、そのため土地から栄養分を溶脱させるので、カルシウム、マグネシウム、カリウムなどがわずしか含まれておらず、酸性の土となっているから、麦などの畑作物はあまり生育しません。稲は酸性に強く連作できます。水に流れた養分も出来るだけ吸収しなければなりません。この役割を負っているのが水田です。

水田の水と土の中には多数の微生物が生息しています。これが各種有機物の分解、光合成、空中窒素の固定などによる栄養分の生成作用をします。我が国の水田は稲作期間中に平均して10アール当り千五百トン程度の水が供給されます。これは10アールの水田に1.5メートルの水をはったことになり、この水とともに流れ込む無機成分もかなりの量になり、Ca、Mgなど灌漑水だけで十分賄えます。

水田の水はまた温度調節もおこないます。水は土に比べて比熱が大きく、夜に気温が下がっても水温、地温はなかなか下がらず、冷害を防ぎ、さらに水は土中の硫化水素、有機酸その他の有害物質を流す作用もあります。中東やアメリカなど、乾燥地帯の畑は塩類が累積して農業が出来なくなる例が多いが、水田にはそのようなことはありません。

水田の水の大部分は浸透水として土中に入り地下水となります。水田は山の急斜面を流れ、土壌浸食を起こす地表水を一旦蓄えて、地下に潜らせる貯水池の役割も果たしています。これこそ日本の水田農業が二千年近く続き、国土が保全されてきた理由でもあります。あまり肥料もやらずに二千年近くも連作できたということは、まさに水田と稲作だけの特徴であり驚異です。稲の単位面積当りの収穫量は昔から小麦に勝っていました。10アール当り米の500キログラム前後の収穫に対し、小麦は350キログラム、大麦330キログラム、大豆170キログラム前後です。

○無為米

BONTAMA

主食という地位ゆえ 畏れ多ささえ感じる米。
なのに 小さな苗を手植えていると そのか細さに驚く。
米だけは一粒でも無駄にするとおばあちゃんから叱られた。
それは昔の人が 小さな小さな苗代が一粒の米になるまでの苦勞を知っていたからなのか。

いつか 外国のひとつと台所に立った。
そのひとはたっぷりの湯をわかし米を入れてしばらく待つと 中身を一気にザルに空けた。
無意識に わたしの頭は躊躇した。ふっくらもちり炊ける米を その甘い香りを私は期待していたのだ。その衝撃で気づいた。自分に染み付いた米の六感。

田んぼを見てびっくりしたこと。田んぼは世界そのものだったこと。
人が集まる。虫が集まる。かえるも集まる。清らかな水と豊かな土壌が混じりあい 生き物が混じりあい 有機物が土に浸みこんで 私たちの体にこの世の恵みを凝縮してくれる。
米のすこさはそこにあった。

○コメとアート

小鹿ゆかり(農業とアートをむすぶ人)

コメは日本の農業を象徴する作物。私は農学部を出ましたが、アートにも興味がある。両者に共通するところがあるのです。

私はものごころついたころから、植物からたべものになっていく様子が面白くて、農業に関心をよせてきました。そして同じ魅力をアートも持っていると思ったのです。あるものが手を加えることで、あるいは見方を変えるしかけをすることで、新しい価値を生む、という変化の過程が、そこにはある。

コメを作る水田は、<食料>を生み出すだけでなく、田園という<風景>をつくり出し、さらには周囲の<気候>をコントロールもする。虫や鳥は水田に住む動植物を食べる。ゆっくりと水を浄化し、地下に水をためる。コメをつくること、実はいろんな効果を生み出し、景観や自然環境を保ってきた。アートには、表現もさまざま、その作品ひとつが生み出すさまざまな人の視点もある。結果がひとつではないことを、アートは認めている。そこには、多様な価値観の共存が、持続的な社会をつくる提案がされているのだと思う。

しかし悲しいかな、今の世の中は、消費者が望むばかりに合理性/効率性が求められ、農業はぶは一つとまかれ、そういった水田のある環境にもたらす多くの機能が失われている。水田はしーんとしている。これまたアートにも同じ事情があって、分かりやすいアート、マスメディアが取り上げるアートのみが多くの人に「正しいアート」として受け止められ、ひとつの方法でみんなが見る形になっている。そこに価値観の多様性は乏しい。



「循環する自然の中で行われる健全なコメづくりが増えていけば、アートも豊かになる」

という法則は成立つだろうか？これ、アート、農業の企画制作をいったりきたりしている私の研究課題です。

泥の中に素足。並んで田植え(5/29)

○生活臭のするところ

藤岡朋美(将来模索中)

“いまは、どの農家でも一連の農作業を機械で行うのが主であり、次第に機能性が高いものが作られ、田植えに携わる人をどんどん減少させていく方向にある。そんな中、取れて多くの人に農業に携わる機会を、いま流れている反対の方向を目指したい”
こういった藤村さんの志向を胸に刻み、東に重なった苗を一つ一つじっくり時間をかけ植えていく。

藤村さんのお宅に戻り、玄関に入ってすぐ目の前に堂々と立てかけてある存在感溢れるはしごを上れば、2階は倉庫になっている。昔からの農機具やほこりをかぶった生活道具が並び、それはまるで「赤埴今昔生活展示館」のよう。今は使われなくとも、大事に保管されてあるようで、1つ1つの農機具の用途について丁寧に説明して下さる。

こうして昔の人達は、簡単に便利なものがなくとも人間にある知恵を絞って器用にいろんなものを編み出し工夫しながら生活を営んできたんだと、想像する。今朝、田植えをする前におっしゃられた藤村さんのことばを思い出す。「反対の方向を目指していく」そんなことを思い返しながら、大きな苦勞をせずのほほんとして生きてきた自分の手が、段々と動かなくなっているのを常々悲しく思う。日常生活において、あれこれと工夫する「創造性」からどんどんかけ離れているのだ。

アートやクリエイティブ性とは、いろんな捉え方があると思うが、何も「立派な」プロフェッショナルだけの権威ある聖域のものではなく、こういった生活に根付いた小さな創意工夫の積み重ねなんではないだろうか。あの日以来、赤埴で感じた藤村家の家族や隣人達が共同で苦勞を重ね丁寧に築き上げられてきた「生活臭」の重みが、大きな変化のないわたしの日常生活の中でちらちらと姿を見せるようになった。



糸を張ってそれを目安に田植え(5/29)

cocoroomがますます使いやすくなって

劇団バック「CO屋」

- co屋5日間パック(木金土日)15万円
- co屋4日間パック(木金土日・金土日)13万円
- co屋3日間パック(金土日)10万円
- co屋2日間パック(土日)8万円

1日利用の場合:5万円/1日(夕方17:00からの使用は3万円)

info: ココルーム tel.06-6636-1612, tel&fax06-6636-1662 cocoroom@kanayo-net.com 担当: 飯島、阿佐田、上田、劔(つるぎ)

*ステージ数問わず一律料金 *使用時間10:00~22:30 *仕込・ばらし含む *月曜は18:00まで *機材管理料含む(音響スタッフはつきません) *稽古使用は3万円 *その他の曜日可 *お客様には入場の際1ドリンク(500円)別途必要 *情宜協力いたします!

●キャバ椅子席:60 ●舞台スペース6×6m ●音響システム完備 ●照明:調光3系統(店舗用) ●定める使用規定にもとづいてください。
くわしくはココルームまでお問い合わせください。

〇 22年ぶりに1枚の田んぼにみんなのちからで稲を植えたよ。

藤村卓司(農家)

ココルームに申し込んで来てくれたみなさんの手と足が田んぼに稲を植えてゆく。田んぼと稲は先人からの贈り物です。そして人が土と水と太陽のちからをいただいて稲を育て、収穫し米になり人々の命の糧となります。

22年前、田植機を父が買った。1輪で2条植え。その時から田植えによそから手伝いに来てもらうことはなくなった。今もその時買った機械を使い4反の田んぼに田植えをしています。

今、田んぼは変わりました。大きな機械(トラクターや乗用の6条植え田植機やコンバイン)が入る大きな田んぼに改造され、少ない人で広い田んぼで稲を育てています。田んぼが大きすぎて手で植えることなんてできないし機械に合わせて作った田んぼなんておもしろくないと思う。ぼくが父から受け継いだ田んぼはほとんど昔のままの棚田です。大きな機械が入らない畦をつけないと水を張り田植えすることができません。

たくさん人の力を必要としています。昨年まで父が生きていたから農業、除草剤、化学肥料を多く使っていました。今年から環境保全の農業をめざしココ田んぼではそのすべてを使わず有機農業での栽培をおこないます。今年、苗つくりの失敗、イネミズゾウムシの被害、小雨による水不足、鹿の侵入と1年目のココ田んぼは昨年の半分の収穫あればいいほうかもしれません。でも続ければ田んぼの生き物は豊かに回復するはず。ココ田んぼの水は最後には大阪湾にそそいでいます。この水のめぐりが生命をつないでゆくはず

です。

5月16日、村で葬式があり手伝いに行った。終わったあと田んぼの真ん中に葬式で出ていたシューズの空き缶が捨てられていました。お米なんて田んぼなんてどうでもいい人ばかりになってしまふ。来年も人の手で田植えやりませう。来てください。

〇 5月29日の日記

とまと(奈良在住の28歳)

5月29日、田植えに参加した。榛原は、ぼくが住んでる奈良とは違って、自然がまだいっぱいある。山がいっぱい。山登りの人がいっぱい。途中バスから外を見てると道を掃除してる人が何人もいて「へ～」と思いながら見る。

バスを降りて、ちょっと歩いて藤村さんの家に到着。藤村さんは面白い人で「これだけは伝えたい」ということと「でも基本はやっぱり楽しく」という考えが、話を聞いてると伝わってくる。バランスが取れているというか、なんかすごく上手いなあと思った。

田植えは思ったより楽しくて、まあ1日体験だからそんなの言えるのだけど、あの泥の感触とか。すごく気持ちいい。まわりの棚田も美しいし、ぼくは「人」とか「人の営み」が大好きなので、あの斜面とかに棚田があって、そこに絶えず水がチロロチロロ流れるのを見るのが「美しい」と思ってしまう。その工夫に、それは農業に限らず、街で信号が青に変わって、人がだだ～と流れるのでも「美しい」とは言わないまでも「なんか素敵やなあ」とか思う。まあそれは関係なかった。

藤村さんの友達で家具職人をする人が、なんだか面白い人で、ことあるたびに藤村さんを「藤村く～ん」と呼ぶ。面白い。そういう初対面のぼくに、最初に話してきた内容も、なぜか「土間」の話だった。土間がいかに素晴らしいか。それを聞いて間もないぼくに高い声で話してくれて、ぼくはおかしくなって笑った。駅まで送ってもらったときも「車停めれるところあるかなあ～。ここはバスがおるからなあ～。う～ん。あ、ここ入れるわ。ここから入る」とか言いながらハンドルを切ったのが妙におかしくなって笑った。思考がからこぼれてくる人。そんなこんなで、今日は田植えをしたり、棚田を見たり、面白い人に会ったりで、とても楽しい1日になった。

〇 お米の味を測る機械。

ライスさとし(from ライス兄弟)

僕は10年ほど、米屋で働いていました(その事が現在活動している「ライス兄弟」のコンビ名の由来となっております)。

突然ですが、お米の味を測る機械って知ってますか？僕も米屋で働いてなかったら、知る機会なんてなかったんやろなあ。通称「味度メーター」と呼ばれるもので、その名の通りお米の味を測って、点数で表示させる機械です。

最初の機械を社長が買ったのが、もう何年前やろ？7、8年前かな？詳しくは知らんけど、数百万はしたと思います。精米されたお米を、規定の量だけ入れて、試験管みたいなややこしいのを使って水を入れたりして、なんかようわからんけど、理科の授業のような事を、社長は日々繰り返してました。時間通りに作業しないとイケないらしく、しかも結果が出るまで時間が掛かり、社長は機械に集中してるので、他の仕事が増えた僕やパートさんも大変だったのを思い出します(笑)。こうして出来たのがブレンド米「こしひかりよりええかもね」です。ブレンド米って、一般的には敬遠されがちやけど、相性や配合をうまくすれば、ホンマに美味しいお米に化けることもあるんです。ブレンド米、要チェックですよ～！

〇 「森のめぐみ」と田んぼの不思議

加藤わこ(三度笠舎主宰)

週末田んぼを手伝っていると話すと、大抵うらやましがられます。農業をやってみたい、将来は田舎に住んで畑をしたいという人がとても多く、「農ある暮らし」は憧れの的

です。かたや、農業従事者・後継者が不足し、生計が成り立ち難い現実。母は、むかし貧しさに泣きながら田植えをしたので、二度と嫌や、あんたら物好きやと言います。多かれ少なかれ農業に携わるには、やる気とか根性の有無を問われる気がしています。

ところが「森のめぐみ」の田んぼワークは、実にゆるやかで破天荒です。自然農法はほとんど独学という川久保くん。おいしいお米をたくさん作るため、新たに借りた広大な休耕田を前に、「これから土起こしや」と言いつつ、「さきに飯にしよう」となり、そのまま2時間ものんびり過ごす…なんてことはしょっちゅうです。苗床450個作る時も、「まあなんとかなるやろ」と急ぐふうもなく、「どここの黒米を取り寄せたんや」と、うれしそうに種籾を出せば、パートナーのヴィクトリアがコーヒーを入れてくれます。素人集団による田植えは、強力助っ人先生のおかげで、奇跡のような出来栄



傘の帽子をかぶって田植え(5/29)

えでした。へたれな私は、体が痛くて参りました。「あほやなあ、だから、ゆーっくりやるのが、田畑仕事を続けるコツや」と、母が笑いました。

100人いれば100通りの田んぼがあり。月よ今宵も田毎に宿れ。森のめぐみ通信は三度笠ブログにて是非ご覧下さい。http://sandgasa.exblog.jp/

〇 米とわたしたち

上田假奈代(ココルーム代表)

一年ぶりのお客さんがココルームに来て「夏に父が死んで、奈良に帰り、米をつくってるんです。よかったら米食べてください」「買いますよ。でも安い値段でしか買えないので古々米わけてください。ココルームだからココ米、ね」商談は成立し、毎日、彼のお父さんがつくったお米を炊いている。

何度かメールや手紙をやりとりするうちに、田舎の、農業の、悩みが伝わってきた。お母さんに教えてもらいながら田畑仕事をして、その収入だけでは生計が成り立たないので、深夜に工場労働をしていること。工場のキツイ労働はブラジルの人がなっていること。地域住民とブラジル人が仲良く暮らせるように願うまなざし。林業が廃れ、山の手入れが行き届かなくなり、加えて道をつくったり整備することにより、山の環境が崩れる。食べ物がなくなった山の動物たちが里におりてきて、田畑を荒らすので収穫量が減ること。車社会になった田舎は地域住民の交流が減り、こどもたちの体力低下が甚だしいこと。そんな環境のなかでも、都会に暮らすわたしたちは何も考えず、何も感じずに、米を食べているのだ。

「いちど田植をしにきてください」そう呼びかけがあったときに、わたしは自分だけが田植に行くのではなく、イベント化してみんなに呼びかけようと考えた。日程の都合が悪くていけなくても、目にとまり、「あ、米」と思ってもらえるだけでも意味があると考えた。なぜなら、彼のその呼びかけは「手伝って」というよりも、都会に暮らす人に農業を体験してもらうことが農業をおこなっている側にも大切なことだと考えているようにとらえたからだ。

呼びかけたところ、すぐに定員数が集まった。あいにく仕事があって行けないけど「草取りとか稲刈りとか誘ってね」という返事もいただいた。2時間に一本しか来ないバスに乗って、田植に出かけたその一日は、夢見るほどにしあわせなものだった。田植のときは苗で、育つと稲になり、収穫されて、わたしたちの手元に届くときに米になる。そんな当たり前のことでも、米が現前するまでの多くの問題をわたしたちは見失っていないだろうか。



おしりばかり(5/29)

於集電脳女流詩人
交流向上百花繚乱
詩的空間月更更新
随時求新同胞以愛

蘭

Web 女流詩人の蘭の会

http://www.os.rim.or.jp/~orchid/
ウェブ女流詩人の集い蘭の会
アンソロジー

¥1575(税込み)
発行：詩学社
装丁：RADIO DAYS
ココルームでも好評販売中

http://www.os.rim.or.jp/~orchid/

詠唱日本国憲法

全国CDショップにて
好評発売中
注文番号ZE00-001
¥2100 info.ココルーム

P.P.P.C.B.N.
cocoroom booking night
ブッキングマネージャー募集!!

出来る事から動かしてゆく
動かしながら考える
アートマネージメントの
第一歩へ

※cocoroom@kanayo-net.comまで

The Lighthouse tapes vol.4〜地面に折姫と彦星がある〜

DATテープに残されたその声の主は、もうこの世の人ではない。小柄な女性だった。わたしが柴田さんに会ったのは、昨年の7月。ライトハウスでのワークショップでのこと。職員の井野さんに連れられてやってきた柴田さんは、視覚だけではなく、聴覚にも障害をもっている様子で、他の参加者とは明らかに違う雰囲気をもっていた。所謂、「盲聾(もうろう)」と言われる人と初めて接したわたしは、どんな風にコミュニケーションをとったら良いのか正直わからず、井野さんの助けがなかったら、その日のワークショップは成立しなかったかもしれない。

テープに残された音源の中に印象的な場面がある。とても小さな音量だ。柴田さんとわたしが懸命にコミュニケーションをとりあっている。

"はっ"と、わたしの声。

"はっ", 追いかける柴田さんの声。

"はっ", "はっ", "はあ", "はっ", "は", "はは", "はは"。

お互いの反応が相乗効果をおこし、プリミティブなリズムに発展していく。参加者達の発する声が発霧のようにあたりを包み込み、声のリズムがつづいていった。

音源は続いて、前の年のワークショップの話から七夕の話へ移っていく。参加者それぞれ七夕の思い出やイメージがぼつり、ぼつりと語られていく。やがて柴田さんの順番になり、わたしは彼女の耳で、「七夕の思い出はありますか」と少々大声を出す。柴田さんは、聞こえているのか、聞こえていないのか、しばらく右へ左へぐらぐらと揺れた後、ぶるぶると身体を震わせながら、彼女独特の微かな発声で、何かを説明しはじめた。どうも柴田さんのお家の周辺の地形を説明しているらしい。要領を得ないわたしは、「ほう」とか「うんうん」とか、ややオーバーに答えている。やがて彼女は「ジメンニ、地面に織姫と彦星」と言った。わたしは、「ええ! 地面に織姫星と彦星があるの?」と訊ねた。すると柴田さんは、小さな顔を「うんうん」と頷かせた。何とも言えない不思議な空気が一瞬流れた。大地に輝く織姫と彦星を観たような、そんな空気が、一瞬流れた。(つづく)

詩人の恋人 最終回

桑原滝弥

別れた女の夢ばかり見る。もしくはまだ付き合っていない女の夢を見る。出会ったことのない女の後ろ髪。いま付き合っている女たちの夢は見ない。三日に一度は死にたくなるので死ぬ前に腹ごしらえをしようと思って飯をのむ。眠くなって眠る。女の電話で起きる。喋りながらまた眠り別れた女の夢を見る。誰のことも認めてはいないので誰からも認められない。そんな夢を見てふたたび目覚める。畜生。殺りたい。水道橋の駅前で落ち合って、ぼくたちは毎日もうイベントがすっかり終わってしまった東京ドームの前を横切って帰った。ゲート21で休憩してキスを。そこでいつも照明が落ちた。午前一時、うかうかしていると警備員が来て殴られて縛られて怒鳴られて外国に売り飛ばされるぞ。母親の夢を見る。おれにおいしいものを作ってくれる。はなればなれの家族たちのそれぞれの思いを多角的な視野で夢見る。ごめんね。ありがとう。素直な言葉はまだ半分溢れそうもない。そこでやっと詩の書き出しが現れる。そこでやっと一日が始まり、終わる。そこでやっと本当にほんの少しだけ、やさしくなれる。だいたいそんなカンジだ。きみにかわいい子供がいるのなら、将来大きくなってからいろんな人と恋をするのはとてもいいことだけど詩人とだけは逢っちゃいけません。そんなことを喋りながらこっそりと上質な本物の詩を世に遺すべし。ゲート22でファックしよう。別れた女のまだ出会っていない笑顔。すべての人たちの夢を見る。今夜。それはいつだって可能なことから。

※「詩人の恋人」一年間ご愛読ありがとうございました。
7/31(日)cocoroomにお邪魔します。誰でも参加ができる詩の朗読イベント。よかったら会いましょう。またね、にやんにやん。

花をちぎる
恋愛研究会。
KING of LOVE ENTERTAINMENT

誰もが(メンバーさえも) どうでもいい
恋愛研究会。秘密のライブ予定!

7/3 難波ベアーズ
宅八郎関西ツアー!

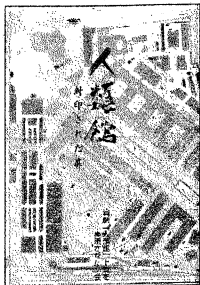
8/27 cocoroom
終わらない夏休みSP!

10/14 梅田レインドッグス
レコ発!(たぶん)

「パン食っているだけでパンク」な
タカーキー in the U.K.Tシャツ絶賛販売中!

コeruleムカフェ
スタッフもとむ

時間 笑 お お
間 顔 掃 料
曜 好 除 好
日 好 好 好
応 好 好 好
相 好 好 好
談 好 好 好



人類館〜封印された扉

- 演劇「人類館」上演を実現させたい会書
- アットワークス刊
- ¥2200
- 人間のこころのなかの差別意識の扉を開けるためのあなたへ:
- ☆☆☆☆

2年前初夏、ひとりの男性がやってきてコeruleムでシンポジウムを開きたいとおっしゃった。その人は関西沖繩文庫の金城馨氏。数年前に同文庫を訪ね、その骨太な活動に身がひきまわったことを思い出した。どうしてまた新世界で?とわたしは思った。お話を伺い、その謎がとけ、この地がどういう宿命を持っているのかを知った。

今から約百年前、第五回内国勧業博覧会に「人類館」というパビリオンがあった。フェスティバルゲートが建つ新世界にである。館内には「未開人」として「琉球人」「アイヌ」「台湾の生蕃」など生身の人間が陳列され、鞭を手にした説明人が解説をしていた。ところが「琉球人」の「陳列」は、「我を生蕃アイヌ視したるものなり」という批判で中止に。

このエピソードは差別的意識の構造をあらわにしているが、百年前と今とそれは少しも変わっていない。だからこそ、その事件を検証し、何重もの重い扉を開けて、現代社会への提言をおこなった「人類館大阪公演」を企画した金城氏たちの同実行委員会の粘り強い取り組みに感謝するとともに、人間の心の奥底にある「人類館」の扉を開けていくことが表現者の責務であると考えます。

みなさま、いつもお疲れさまです

加久裕子

大人になると、誉められることが少なくなってくる。家に帰って誰もいない部屋へ向かって、「ただいまあ」と言ってる自分がいたりする。ちいさなちゃぶ台に今夜の晩酌セットを並べ、缶ビールを開ける。ふしゅつという音が今の私にとっての誉め言葉ならぬ、誉め音になっている。その音が「今日も一日お疲れさま」と私を誉めてくれている気がする。そんなに寂しい訳ではない。誰かに誉めてもらいたい欲求が缶ビールを開ける音さえ、そう聞こえさせる。たまに近くの定食屋へ行ってタクシーの運転手達にまぎれて、生ビールに煮さば定食を頼み中日新聞を広げる。気にされないというのが居心地がいいことになってたりして。それが最近の私です。

今回は名古屋であるイベントの宣伝をさせていただきます。
7月2日(土)3日(日)名古屋市鶴舞 K・D japon
「ふれあい」 ウエノ ポエトリカンジャム3の名古屋イベントが桑原滝弥主催で開催されます。2日間にわたってオープンマイクあり、東京から馬野幹さんを向かえてのライブもあります。退屈な日常や自分自身をぶっ飛ばしたい人、どうぞふるってご来場ください!!

浪速自転車通信第2回

「ドドド、Go toヘル! 地獄への道」

辻本恵美

さて、浪速自転車昨年10月より活動開始にて半年目の4月に2台の受注をうけた訳なのです。鉄の造形作家のアトリエにてガス溶接、真鍮ロウを使ったアーク溶接びびびと溶接したり…って自転車のフレームの溶接をしていたのではありません。浪速自転車、溶接小手調べにアトリエに落ちていた鉄屑をひっつけてみたのです。鉄を好きのようにひっつけんに熱中して時間はあっという間に過ぎ、あぁものづくりって楽しいなあと盛り上がっていると今度は木の彫刻家にそのおもしろさが地獄への道なのだがはははと笑われてしまいました。たしかに右むいても左むいても、ものづくりが失われていって久しいわけです。われわれも自転車あのシートがいいこのエンブレムがええチェーンケースはあれで泥よけはアレがええんですってウェルビー(現在も国内で運搬車を作ってるメーカー)の明石さんにお話をさせてもらった時にも、もうそりや作り手がいなくて無理ですよ!と言われました…。

ナンデ?ナンデなのよ。ほんとに市場経済で淘汰されてしまったのでしょうか?今あるモノが最善なんすか?いやまてまてニーズがここにあるじゃんかー。のっばらばーの自転車より七宝焼きのエンブレムがキラリと光る自転車がええんですよ。ちうわけで浪速自転車ちりりりん!ヘルー丁目に突入中。

ブログ:浪速自転車の日々びびび <http://blog.goo.ne.jp/naniwacycle/>
連絡先:naniwa-jitensya@hotmail.co.jp

近、引っ越しをした。

場から自転車で10分。大通りから一本奥に入っただけなのに、
でも静かで暮らしやすい下町だ。

最近、音楽を聴かない生活を送っていたが、引っ越しを機に、CD(相変わらず、
ともと持っているものしかないけど)を聴くようになった。

は今まで、引っ越しを7回ほどしているが、その住む場所各々にその生活時代が
り、日常や思い出が存在するわけだ。その場面場面に存在していたサウンドト
ックとしての音楽は、例えば、小学校時代はチャゲアス(本気で好きだった...)で
ったり、中学校時代はフリッパーズギターであったり。

でも過去の愛聴盤が流れると、その時、その場所にいた自分の目線が、現在の目
に覆い被さる。何重にも何重にも覆い被さったその風景にさらに追い打ちをか
るように、もう一度現住処にてフリッパーズギターを流すのだ。

近、7月に行なわれる個展のためにカセットテープを収集している。

一トでもなんでもなく、最近、ただのカセットテープコレクター家しているとも
われたり...。自分ではない人間の思い出が沢山詰まったカセットテープの山を
き分け、そこに収められた音がかつてそれを所有していた人の中に存在してい
場所を探し求める。そういうところに興味があるのか、カセットテープを使っ
架空の地図を制作してみたくなった。公開制作個展。是非お越し下さい。僕は自
の暇を沢山、端正込めて吹き込みたいと思っています。

和川レコード 個展 「選び採取された日常」 ※詳細はスケジュールを参照して下さい。

阿佐田亘(アサダワタル)...

アーティスト。大和川レコード名義で活動。主として音楽の提示の在り方に焦点をあてたライブ/
インスタレーション作品を様々な領域で発表。

NPO法人cocoroomコーディネーター。http://www.geocities.jp/endeavor0203/

どうでもいふことある記念の瞬間

劔樹人

恋愛研究会。というバンドをやっている。ある日、いつもの友人たち(軒並み
over30)と集まってハロー!プロジェクトのDVDを見ていたら、突如そのバンド名
が降りてきたのである。さすが、昔から、バンドに名前を付けることに関しては定
評のあった私である。名前をつけただけで実際やっていないバンドは数知れない。
名前がカッコイイバンドの音がカッコよくないわけがない。その時点で恋愛研究
会。は、世の中のカッコイイとされるバンド(例えば押尾学のLIVとか)の仲間入り
が決定したのである。

そして恋愛研究会。の快進撃と言う名の歩みが始まるわけであるが、バンドが結成
されて、まずできたのがTシャツのデザインである。もちろん、次にできたのがTシ
ャツである!そして、次にできたのが、なんと、キャップである!そして満を持せ
ずして、見る前に跳べの切切り発車、猪木イズムとDIY精神溢れる我々は自主興行の
日程を決定!これで、さすがに後に引けなくなって作ったのが、リーダーである私の
プロモーションビデオなのであった!

そして迎えた1st GIG。恋愛研究会。が行ったのは、不真面目な即興演奏と他人の曲
のカバー(つまり己の曲がない)、メンバーのお宅訪問ビデオ上映、今時ありえな
いヤンキー画のライブペインティング あとは雑談、という、全てにおいてどうでも
いい内容だったのであった。

そんな恋愛研究会。であるが、以来月イチペースで自主企画を成功、どうしたこと
か人のイベントにも誘われ出しているのである。早川義夫さん風に言うと、音のな
いところに音は降りてくる、という感じのことなのであろう(しかし未だ曲は降り
てこないのである)。

P YOUR EARS CHIMES

booking exhibition

阿佐田亘

05/04/01~05/04/21 桧垣文江 展

壁面一面に敷き詰められた約70のオブジェ。その中には様々な女性の髪の毛が
ペルセル状に封印されている。髪の毛といえば少しおぞましいイメージを持たれが
たが、彼女の作品はどれもシンプルで、かつ穏やかさや清らかさすら感じられた。
本の「線」を描き出す素材としての髪の毛ゆえに、人の営みにまつわるあらゆる
イメージが淘汰された無垢な存在としての作品。だからといって決して人の営み
から完全に切り離された存在ではなく、不思議な生命が宿った作品。

個人的にはここ最近行なわれたCHIMESの中では一番好きな展覧会であった。

05/05/09~05/05/29 Noet(直江竜也)写真展

「Searching for the Oasis」

ブログで連載中の近作から選ばれた二十点ほどを展示。また旧作の写真冊子発行
記念して、シリーズ、Urban Nomad、二十一世紀オオサカから代表作も展示。
舞台上、客席壁面右側、左側とカテゴリ化されての展示であったため、時代と
ともに変遷する作家性をわかりやすく体験することができて面白かった。

電を見上げるためには、人は色々なものを通してしなければならない。そこには電
線があったり、ビルがあったり、雲があったり。彼の切り取る視線には、その視線
が行き着く先(目的/対象)にぶちあたる前に、多くの風景が内包され、それが作品
によく現れているように感じられた。二十一世紀オオサカ。まだ自分が見たこと
のない「オオサカ」が、そこにはあった。

SCHEDULE (cocoroomから飛び出す事業) 4/21~6/24

詩の学校(應典院校 / 京都芸術センター校)

INF:cocoroom

第7期 詩の学校

京都芸術センター校

7月13日/27日、8月10日/24日

7月28日、8月25日

すべて水曜

すべて木曜

19:30~21:30 単発受講可

19:00~21:30 単発受講可

受講料:1000円(筆記用具、ノート持参)

受講料:1000円(筆記用具、ノート持参)

講師:上田假奈代

講師:上田假奈代

主催:NPO法人COCOROOM

主催:NPO法人COCOROOM

共催:應典院

共催:京都芸術センター

●應典院 www.outenin.com

●京都芸術センターhttp://www.kac.or.jp

大阪市天王寺区下寺町1-27 tel.06-6771--7641

ミーティングルーム2(南館3F)

■近鉄奈良線・地下鉄 堺筋線/千日前線「日本橋」駅下車

京都市中京区室町通錦雲脚山下伏山町546-2

8番出口から東南方向・国立文楽劇場方面へ徒歩5分

tel.075-213-1000

地下鉄 谷町線/千日前線「谷町九丁目」駅下車

■阪急電車烏丸駅・地下鉄烏丸線四条駅

3番出口から西南方向・国立文楽劇場方面へ徒歩6分

22・24出口から徒歩5分

文藝てくてく若者むけ詩のワークショップ

8月2日(火)、5日(金)、9日(火)、12(金) 開始:14:00 料金:無料 *筆記用具、ノート持参
講師:上田假奈代 会場:京都芸術センター南館3Fミーティングルーム

詩の学校 お盆墓地編「それから」

8月6日(土) 開始:18:30 参加費:1000円 *筆記用具、ノート、虫除けスプレー持参
講師:上田假奈代 会場:大連寺墓地内 共催:應典院 大連寺

その1頁から、はじまる

8月9日(火) 開始:19:00 料金:1000円(お茶・お菓子つき) 筆記用具持参
会場:Kyoto Aeroport 京都市中京区御幸町通二条上ル

声とことばのワークショップ

INF:cocoroom

7/8(金) 13:30start 参加費無料

ナビゲーター:飯島秀司(音楽家)

会場:視覚障害者施設日本ライトハウスジョイフルセンター内2階チャピールーム

〒538-0042大阪市鶴見区今津中2丁目4番37号 tel:06-6961-5521

アクセス:JR学研都市線放出駅下車徒歩15分 当日のお問い合わせ:090-6737-4523(飯島)

上田假奈代 live information

■velvet moon

7/12(火) 19:00start 前売:1000円+1d 当日:1300円+1d 会場:independents

出演:上田假奈代 / ryotaro / take-bow / 飯島秀司 / 足田メロウ / THIS

飯島秀司 live information

■velvet moon

7/12(火) 19:00start 前売:1000円+1d 当日:1300円+1d 会場:independents

出演:上田假奈代 / ryotaro / take-bow / 飯島秀司 / 足田メロウ / THIS

大和川レコード live information

■大和川レコード 個展 「選び採取された日常」

不要となったカセットテープを使用したインスタレーション/公開制作パフォーマンス

7/5(火)-7/10(日) 12:00~19:00(最終日18:00まで) 無料 会場:京都ギャラリイ三条

※作家は会期中、常時在廊しつつ、京都の街をフィールドレコーディングします

※会期中、05年6月1日にリリースされたCD作品集「選び採取された日常」も販売されます

today's

15/365

つらつら綴ろう。

採取日時:2005年6月18日(土)13:37 採取場所:大阪府堺市 採取者:ガキ(ばきりノ)

一通の手紙が届く。遠い所に住むあの子からだ。白い便箋には率直な心で綴られた言葉。
それらを一区切りごと、赤・緑・青色のペンで色分けされた文字が並んでいる。心の色を表
しているようだ。何だかあの子らしい手紙だと思い、くりっとした丸い目に優しく笑う顔
が浮かんできた。そう、時々、ペンを持って自分の心をつらつら綴り、誰かに言葉を送るの
も素敵なこと。さあ、手紙を書こう。首を長くして待っていると聞いたあの子へ。

もーれちゅ!マウス絵道場

~詩のオーケストラサイト共同企画

「焼しは盗み食いくるちゃん」 絵:のそ

ぼえ犬通信のレイアウトに疲れ

爆睡している劔君

トムヤンクンを夜食に 今日闘うスタッフと

今日も横取り 女王様クロちゃん(わ)



P.P.P.C.B.N ~ cocoroom bocking night ~ 19:00 ¥1500+1d

※特記のあるもの以外は上記の時間料金です

- 7/3(日) デカルコ・マリィ! プロデュースによるP.P.P.P.C.B.N. 「舞踏会 Jazz」
アチャラカ&マリィ / さらちと with D
7/12(火) panama / 北紫子 / SUMIDA / 中年ジャンプ / 他出演者募集中
7/15(金) 渡辺昭司×加藤吉樹 / mino / 本上百貨店 / シェイクUpポーズ / 欠陥口ケット
7/18(日) ガキプロデュースによるP.P.P.P.C.B.N.
「森林浴 癒しと笑いのP.P.P.P.C.B.N.」 18:00 1500円+1d
あたりめ / ElJI / 渡辺"カント"作朗&中島基裕 / タラチネ / 他
フジ世義義郎×カワサキユスケ / 他出演者募集中
8/19(金) AnN-shitsu [アンシツ] プロデュースによるP.P.P.P.C.B.N. 「AnN-room」
時間料金詳細未定
mujika easel / 他
8/30(火) 出演者募集中

P.P.P.P.C.B.N.にオープンマイク「実験精神」
7/12,8/30
持ち時間5分(セッティング2分以内)を3組募集
PPPPCBN3回連続して 3,000円

文学トコトコ 20:00 1ドリンクオーダー

- 6/28(火) 「金友トコトコ」業務用自転車改造計画について語るvol.6 / 浪速自転車
7/26(火) 「金友トコトコ」業務用自転車改造計画について語るvol.7 / 浪速自転車
7/27(水) 「なぜこれがアートなの!?」 / 土田恵好 ※時間詳細未定

Chimes~prick up your ears~ 12:00~22:00 入場無料

- 6/18(土)~7/1(金) vol.18 ひかるのアトリエ~摂食障害とアート~
摂食障害という「一部」を持ち合わせたひかるさんによる個展
7/17(日)~7/31(日) vol.19 野村国際文化財団助成事業 線とことば
創造力の、美術家 ジロー・オオクラと、詩人 上田假奈代によるコラボレーション展覧会
※出展者募集中。詳しくは wataru@kanayo-net.com(キュレーション担当:阿佐田)まで

上田假奈代の日常きもの指南 19:00-21:00 ¥1500

- 6/29(水)、7/6(水)、7/21(木)、8/3(水)、8/23(火)
要予約:コカールームまで(先着5名)
自分で着られる かんたんきつけ

上田假奈代のぼえ茶会 20:00 ¥500+1d

- 7/14(木) vol.30 「憧れのアートマネージメント」アートマネージメントという表現について
現代美術家・ヤノベケンジ氏について学ぶ多田智美さんのおはなし

COCOROOM 月曜日企画

BOOKS ARCHIVES 20:00 入場無料(要ドリンクチケット)

声が明日のページをめくってゆく / 朗読:上田假奈代、ウォン・ジクスー
上田 7/11(月)第58夜 8/8(月)第61夜 上田/ウォン 7/25(月)第60夜 8/22(月)第63夜
ウォン 7/19(火)第59夜 8/15(月)第62夜

Creation Goes On 19:30 出品者/見学者ともに ¥500+1d

毎月一週目の月曜日(変更あり)に開催される、現代美術をはじめとするあらゆる作品
表現行為の自由参加型プレゼンテーション企画
第4回 7/22(金) ゲスト:林勇気(映像作家/美術家) 第五回 8/1(月)
※出品者は18:30-19:00申し込み受付 担当:阿佐田 wataru@kanayo-net.com

Cocoroomでは、寄付をつっています。

運営のための寄付をつっています。ご寄付いただいた方には、お名前を
「ぼえ犬通信」に掲載させていただきます。3000円/1口 何口でも結構です。

三井住友銀行 天王寺駅前支店 普通1585265
トクティエイリカドウホウジンコトバココロノハヤ
郵便振替 記号01090-5-48059
cocoroom代表 ウエダカナヨ

宮前んさまよりお心添え頂きました。



特定非営利活動法人こえとことばとここの部屋



zip556-0002 大阪市浪速区恵美須東3-4-36
フェスティバルゲート4F
tel.06-6636-1612 tel&fax. 06-6636-1662
http://www.kanayo-net.com/cocoroom/

- ※地下鉄御堂筋線・堺筋線「動物園前駅」5番出口直結
※大阪市営バス「地下鉄動物園前停留所」すぐ
※JR 環状線・関西線「新今宮駅」下車 徒歩すぐ
※南海電鉄線・高野線「新今宮駅」下車 徒歩5分
※阪堺電軌鉄道「南霞町駅」下車 徒歩すぐ
※駐車場(有料)

7/1(金) 宅八郎大阪襲撃'05 トークイベント in cocoroom
17:30open 18:00start 2000円(1d付き)
トーク:宅八郎 司会進行:まだダグ・リハシゅう (info)牧:maki0928minimal@docomo.ne.jp

7/9(土)、10(日) ハナイワシVTRコントライブvol.6 石原史郎展 ~天才が畏れた男~
9日→(展示)15:30~20:00 (上映)16:00/17:30/19:00 500円+1d
10日→(展示)13:30~18:00 (上映)14:00/15:30/17:00 500円+1d

7/20(水) 即興表現WORKSHOP#15
18:30open 19:00start 1500円+1d(見学の方も同額)
企画・参加:向井千恵ほか (info)DOM06014@nifty.com(小林)

7/20(水) 書評カフェ
19:00start 1,000円(1d付)
主催:NPO法人ココベリ121 共催:カフェフィロ (info)kwua@cafephil.jp(桑原)

7/31(日) UPJ3 + COCOROOM presents 「声持~kowamote~」
15:30open 15:30start 2000円(1d付き)
PART1/(15:30~) 第四回全日本★朗読シンポジウム「詩表現と社会との関わりを探る」
出演:馬野幹、桑原寛弥、近藤洋一、ジュテーム北村、上田假奈代
PART2/(17:00~) プレ・ウエノポエトリカンジャム3「Rord to UENO スペシャルスラム」
定員無制限。1人1回限り持ち時間5分。案主催:NPO法人ココベリ
主催:UPJ3実行委員会 with NPO法人こえとことばとここの部屋

8/7(日) 真っ屋間から #1
12:30open 13:00start 1000円+1d
出演:A. C. E. / あなざー患トリー / 糸でいまあこん / ユリシイズ / 他

8/17(水) 即興表現WORKSHOP#16
18:30open 19:00start 1500円+1d(見学の方も同額)
企画・参加:向井千恵ほか (info)DOM06014@nifty.com(小林)

8/26(金) 千葉海音演奏会~セー又川と三途の川~ツアーファイナル
19:30start 前売2000円 当日2200円 (ともに1d付き)

8/27(土) 恋愛研究会。終わらない夏休みスペシャル
18:30open 19:00start 1500円+1d(前売り) 2000円+1d(当日)
出演:恋愛研究会。/ チンポー / 石井マコト(オシリペンペンズ) / 大王(イデアストロイド) / 他

7/17(日) 展示企画「線とことば」野村国際文化財団助成事業

展示:7/17(日)~7/31(日) 12:00-22:00 free
オープニングイベント:7/17(日) 14:30open 15:00start 2000円(1drink,CD付き)

- ・ジロー・オオクラによるドローイングワークショップ
・参加アーティスト全員による展覧会トーク
・ワークショップで制作した作品を試用したコラボレーションライブ
上田假奈代(朗読) エメスギ(ダンス) 大和川レコード(サウンド)
主催:特定非営利活動法人こえとことばとここの部屋 制作/ディレクション:阿佐田

<<展示関連企画>>

7/18(祝) ガキ企画 森林浴癒しと笑いのPPPP.C.B.N.
18:30start 1500円+1d 「ばきりノす」のガキコーディネートによるPPPP.

7/19(火)、7/25(月) クスノキの響りでBOOKS ARCHIVES
20:00start 入場無料(要ドリンクチケット)

7/22(金) Creation Goes On
19:30start 500円+1d
現代美術を中心とした表現行為の自由参加型プレゼン企画 ゲスト:林勇気(映像作家/美術家)

7/27(水) なぜこれがアートなの?
時間詳細未定 1ドリンクオーダー
美術作品を色々な角度で鑑賞して語り合うサロン企画 感じたことを素直に伝えよう

7/30(土) 視覚障害者のナビゲートによるダイアログ美術鑑賞会
「読歩project vol.2~ことばと線~」
14:00start 晴眼者¥1500(ドリンク付)視覚障害者¥1000(ドリンク付/介助者も同額)
ホスト:広瀬浩二郎(国立民族学博物館/視覚障害者)/やまむらけいこ(アーティスト/視覚障害者)
進行:飯島秀司(音楽家/晴眼者) / 高橋綾(CAFE PHILLO/晴眼者) ゲスト:上田假奈代(詩人/晴眼者)
要予約制:20名限定(予約)コカールームまで 主催:読歩PROJECT実行委員会 with CAFE PHILLO

※1d表記のものは500円ドリンクチケットです。 ※すべての開場は30分前です。

(編集後記)先日、我孫子のマクドナルドで、腕に「しょうた」とカッターかなにかで刻んでいる女の
子(小学生)を見た。Tシャツはどくろだった。タワレコは「BURST」も袋に入れましょう。(剣)

■ cocoroomをご活用ください

あなたの活動がもっとスムーズに、そして継続できるよう協力
体制でのぞみます。企画書をもってお話しください。
使用管理料:¥50000/1日 お気軽にご相談ください。
お得な「co屋」バックもご利用ください。

■ スタッフ求む!! (びよんびよん通貨)

びよんびよんスタッフ(ボランティア)から、有償スタッフまで。
現場感あふれるコカールームと一緒に活動してみませんか。
10びよんびよん稼いで頂いたスタッフには、1PPPP(cocoroom主
催イベント、PPPP.C.B.Nの一回フリーパス券)を進呈。